

光市記者発表資料

平成30年11月20日

件名 2019年(平成31年)「カレンダー」、「干支土鈴」の贈呈について

内容

1 趣旨

光市心身障害者福祉作業所「つつじ園」で毎年作成しているカレンダーと干支土鈴の2019年(平成31年)版が完成しましたので、市川市長に贈呈するため市長室を訪問します。

2 日時

平成30年11月28日(水) 11:00から

3 場所

光市役所本庁2階 市長室

4 来訪者

光市心身障害者福祉作業所 利用者 穉本 伸一さん
所長 坂本 美穂

5 贈呈品

(1) 障害者理解を深めるカレンダー

第二弾:「穉本 伸一」

パソコン画:穉本 伸一さん 短歌:中原 伸二さん カレンダー入力:卯山 賢吾さん

(2) 書込み式カレンダー

短歌、カレンダー入力:中原 伸二さん

(3) 干支土鈴(亥年親子土鈴)

色付け作業:光市心身障害者福祉作業所「つつじ園」

問合せ 担当課 光市福祉総務課障害福祉係

担当者 古山 悟士 電話 0833-74-3001

2019年(平成31年)カレンダー、土鈴の贈呈式

平成30年11月28日(水)

市役所2階市長室 11:00~

- 1 開式
- 2 出席者紹介
- 3 カレンダー、土鈴の贈呈
- 4 市長謝辞
- 5 閉式
- 6 写真撮影
- 7 歓談

来訪者

光市心身障害者福祉作業所「つつじ園」 利用者 穂本 伸一さん
所長 坂本 美穂

障害者理解を深めるカレンダー

第二弾：「穂本 伸一」

パソコン画：穂本 伸一さん(福祉作業所利用者)

短歌：中原 伸二さん(福祉作業所利用者)

カレンダー入力：卯山 賢吾さん(福祉作業所利用者)

編集・印刷：光市心身障害者福祉作業所「つつじ園」

2017年版で「偉人伝シリーズ」が終了し、昨年度から、「障害者理解を深めるカレンダー」を作成しています。2018年版では、第一弾として、福祉作業所利用者の 卯山 賢吾さん を紹介しました。第二弾となる2019年版は、同じく福祉作業所利用者である 穂本 伸一さん を紹介するカレンダーとなっています。

過去の偉人伝シリーズ

- 2008 年版 銀のかんざし『松岡フジ』
現室積小学校を作った話
- 2009 年版 魚ヶ辺の道づくり『田村権十郎』
恋ヶ浜あたりの道づくりの話
- 2010 年版 灯台を作った人『松村屋次郎左衛門・亀松親子』
室積の灯台の話
- 2011 年版 シベリア横断『玉井喜作』
単独でのシベリア横断達成 日独貿易に貢献
- 2012 年版 明治の天才画家『巖島虹石』
新しい日本画壇の担い手と期待されたが34歳の若さで死去
- 2013 年版 倒幕戦に散った忠節の士『松岡梅太郎』
戊辰戦争で活躍、後に箱根で銃弾に倒れ死去
- 2014 年版 千本の卒塔婆流し『平 康頼』
鹿ヶ谷の陰謀を知られ島流し 途中立ち寄った室積で出家
- 2015 年版 『伊能忠敬と室積』
江戸時代、日本国中を測量してまわり、初めて実測による日本地図を
完成させた人
- 2016 年版 『山頭火 室積に行く』
自由律俳句の中でも最も著名な昭和の歌人の一人。
- 2017 年版 『性空上人と室積』
存命中から多くの霊験があったことが伝えられ、書写上人とも呼ば
れる。

偉人伝シリーズ以前・・・

民話シリーズ(2001年～2007年) A3版

- ・鬼飛彦兵衛
- ・かなやまひこ
- ・牛鬼
- ・永代橋の河童
- ・五坊山の仁王さあ
- ・島田川のだいじゃ
- ・やまんばの涙
- ・鶉攻めの城の七作

花シリーズ(1999年～2000年) A4版

書込み式カレンダー

今年も福祉作業所利用者である中原伸二さんの短歌の入ったカレンダーを作成しました。2016年版から短歌入りのカレンダーとなり、今回で4年目となります。

短歌：中原 伸二さん

カレンダー入力：中原 伸二さん

編集印刷：光市心身障害者福祉作業所（つつじ園）

亥年親子土鈴

色付け作業：光市心身障害者福祉作業所（つつじ園）